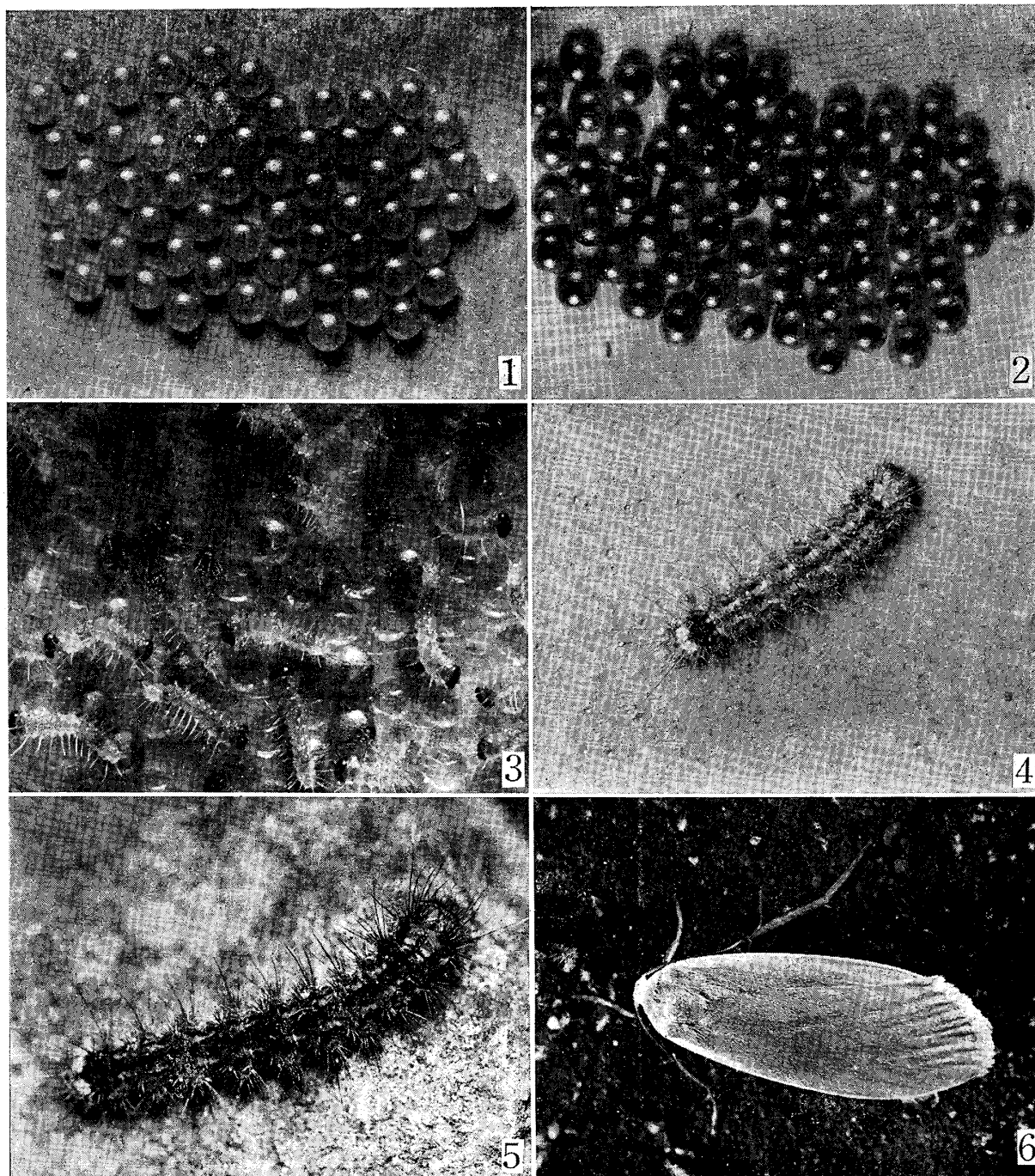
コケガの生態 (II)

小林 洋[1)]・福原義春[2)]

Biology of lichen-feeding moths (II) (Arctiidae, Lithosiinae)

By HIROSHI KOBAYASHI and YOSHIHARU FUKUHARA

1) 千葉県市川市菅野200
2) 東京都品川区上大崎長者丸253

Eilema griseola aegrota BUTLER キベリホソバ (キシタホソバ・シロズキホソバ)

Ann. Mag. Nat. Hist., (4) 20, p. 397 (1877)

=*adaucta* BUTLER, Ann. Mag. Nat. Hist., (4) 20, p. 398 (1877)

卵は直径 1mm 程度の球形，黄白色で真珠様光沢を呈する．尚，表面は網目状にきざまれている．又，産卵は数十箇の塊卵として産附せられる．

幼虫は孵化後卵殻を食べ，直ちに食物である地衣類の摂食を開始する．幼虫は常に活溌に活動し，昼間，石垣，樹幹等によくみかける．老熟すれば体長 30mm 程に達し，背面は黒色ビロード様を呈し，亜背線部の疣起間は各々橙黄色で，前後に2条をはしる．

成熟すると，地衣・土などをあつめ繭をつくる．成虫は年2回，東京附近では5, 6月及び8, 9月に発生し，好んで燈火に集まる．又，越冬は幼虫態で行われる．

本亜種は北海道・本州・四国・九州に分布している．尚，本種 *griseora* はヨーロッパ・アフリカ・ボルネオ・インド・ウラル・アムール・アルタイ・中国・朝鮮に分布する事が知られている．

写真説明：Fig. 1：卵(約10倍)，Fig. 2：孵化1日前の卵（約10倍)，Fig. 3：孵化した幼虫(約15倍)，Fig. 4：幼虫（約3倍)，Fig. 5：老熟幼虫（約2.5倍)，Fig. 6：成虫（約3倍）

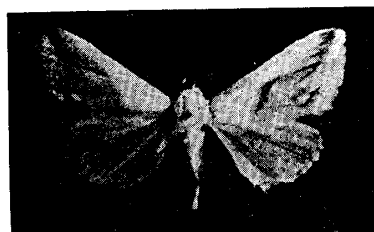
シラホシベニコヤガの発見

黒子　浩[1)]

Discovery of *Porphyrinia cochylioides* (GUENÉE) in Japan (Noctuidae)

By HIROSHI KUROKO

1956年10月上旬九州南端の佐多岬方面に採集旅行を行つた際，海岸附近の叢より飛立つた美麗なコヤガを採集した．調査の結果本邦より未知の *Porphyrinia cochylioides* (GUENÉE)（シラホシベニコヤガ）である事が判明したので，以下簡単な記載を附して報告する．

尚，旅行に際し，種々御配慮を頂き，又常々御指導下さる九州大学教授江崎悌三博士に深謝の意を表する．

Porphyrinia cochylioides (GUENÉE) シラホシベニコヤガ

Micra cochylioides (GUENÉE), Spec. Gén. Lép., Noct. 2 : 245, 1852

♂♀. 13mm. 体黄白色．前翅基半部は黄白色，外半は淡紅色，境界線は暗オリーブ色にして傾斜す．中室端に小黒点あり，第7脈に於て外方へ角張る濃色の外横線を有す．翅頂部暗色．外縁部帯オリーブ黄白色．第1及び第3脈にかけて2白紋あり，この外方は黒鱗で縁どられる．後翅は白色であるが，やゝ灰褐色を帯び外縁に行くにつれ暗色となる．

産地：鹿児島県尾波瀬，7. X. 1956, 2♀♀；同佐多岬，8. X. 1956, 1♂（黒子浩)．

分布：日本（九州)．台湾．印度．セイロン．アンダマン諸島．ジャワ．オーストラリア．フイジー諸島．アフリカ．カナリア諸島．シリア．

male genitalia, ad : aedoeagus

Summary

In this paper the author has recorded *Porphyrinia cochylioides* (GUENÉE) new to the fauna of Japan.

1) 福岡県田川郡添田町彦山　九州大学附属彦山生物学研究所